

第5回流山市補助金等審議会会議録

- 1 開催日時 令和元年12月4日(水) 午前9時30分から
- 2 場 所 流山市役所第2庁舎3階306会議室
- 3 出席委員 山口会長、中村副会長、西村委員、山本委員、川上委員、
神田委員
- 4 欠席委員 田中委員
- 5 事務局 福吉財政調整課長補佐、加茂副主査、齋藤事務員、
加藤臨時職員
- 6 傍聴者 なし
- 7 議 題
 - (1) ヒアリング結果について
 - (2) その他
- 8 配付資料
 - (1) 前回ヒアリングで提出依頼した資料
「文化活動事業費補助金関係」
「農林水産業の振興に関する補助金(米飯給食における地産地消推進事業)
関係」
「土地改良施設維持管理費補助金関係」
 - (2) 補助金等調査票・補助金等適正化実行プランの差し替え
「流山本町・利根運河ツーリズム推進事業補助金」
 - (3) ヒアリング対象補助金等審査表集計
 - (4) 平成31年度予算(要求)対前年度比較表

開 議 9時30分

(山口会長)

ただいまから第5回流山市補助金等審議会を開催いたします。

本日の会議は、出席6名、欠席1名ですので会議は成立していることをご報告します。

なお、あらかじめご報告申し上げますが、流山市では、審議会等の会議は原則公開としておりますことから、本審議会は公開といたしますので、あらかじめご了解をいただきたいと思います。

また、本日はヒアリング結果についてを議題とします。

はじめに、事務局から配付資料等について説明をお願いします。

(事務局)

本日の配付資料は、1点目として、前回のヒアリングの中で資料要求のありました生涯学習課の「文化活動事業費補助金」で記念誌の配付先などを記載したもの、農業振興課の「土地改良施設維持管理費補助金」と「農林水産業の振興に関する補助金(米飯給食における地産地消推進事業)」で積算内容を詳しく記載したもの。2点目としては、「流山本町・利根運河ツーリズム推進事業補助金」の実行プランの差し替え分、3点目として、ヒアリング対象補助金等審査表集計、4点目として、平成31年度予算(要求)対前年度比較表を配付しております。

事務局からは以上です。

(山口会長)

それでは、早速、議題1ヒアリング結果について、事務局からの資料では、各委員の皆様の評価結果が一覧になっておりますので、審議会としての総合評価を決めていきたいと思っております。

それでは、早速始めさせていただきます。

A3集計表の1ページ「自治会館建設事業補助金」については、全員A評価になっておりますので、総合評価もA評価です。

次に、「企業等立地促進奨励金」も、全員A評価になっておりますので、総合評価もA評価です。

次の、「立地企業等協力金」は、A評価6名、B評価1名ですので、総合評価はA評価にしたいと思います。

次の、「商業振興共同施設維持管理費補助金」は、A評価4名、B評価3名と意見が分かれておりますので、総合評価は後から協議したいと思います。

次の2ページ「商店街空き店舗有効活用事業等補助金」「観光協会事業補助金」「流山本町・利根運河ツーリズム推進事業補助金」「県民体育大会出場選手派遣事業補助金」については、全員A評価ですので、各補助金の総合評価もA評価にしたいと思います。

次の3ページ「高齢者住宅改造費助成金」「障害者支援施設等通所交通費助成金」「障害者福祉サービス等利用助成金」「就労支援施設利用者負担助成金」についても、全員A評価ですので、各補助金の総合評価もA評価にしたいと思います。

次の4ページ「私立保育所整備費補助金(賃貸物件市単独補助分)」も、全員A評価ですので、総合評価もA評価にしたいと思います。

次の、「認可外保育施設等保育料助成金」は、A評価6名、B評価1名ですので、総合評価はA評価にしたいと思います。

次の、「文化活動事業費補助金」は、A評価2名、B評価4名、C評価1名で意見が分かれたので、後ほど協議して総合評価を決めたいと思います。

次の、「姉妹都市少年スポーツ交流事業費補助金」は、A評価5名、B評価2名ですので、総合評価はA評価にしたいと思います。

次の5ページ「農林水産業の振興に関する補助金（米飯給食における地産地消推進事業）」は、A評価6名、B評価1名ですので、総合評価はA評価にしたいと思います。

次の「農業振興資金利子補給金」も、A評価6名、B評価1名ですので、総合評価はA評価にしたいと思います。

次の、「土地改良施設維持管理費補助金」は、全員A評価ですので、総合評価もA評価にしたいと思います。

総合評価につきましては以上でございますが、意見が分かれた事業について協議したいと思います。

はじめに、「商業振興共同施設維持管理費補助金」についての総合評価点ですが、これまで審議会としては自助努力が必要と言ってきたところですが、今回の増額に関しては電気料の値上げによるものなので妥当であると思いますがいかがですか。

（西村委員）

基本的には商店街の自助努力によって負担すべきものと思いますので、補助金負担割合の検討などが必要と考えます。

（山口会長）

商店街のアーケードは市民の通路としての利用もあり、市民の安全安心にもつながっておりますので、補助することは理解しますが常に定率の補助をすることは既得権化しますので、このようなことをコメントに加えたうえでA評価とし、妥当としたいと思います。

次に「文化活動事業費補助金」につきましても、各委員からいろいろと意見が出ておりますが、内容としてはおおよそ同じで、市民に広く周知されるよう配付先の工夫がほしいということと、記念誌の内容如何で補助金として適切かどうかとの意見があります。

また、記念誌の配付は文化協会内での配付がほとんどで公民館や図書館などへの配付は50部程度となっており、どのようにして市民に周知するのか検討が必要と思います。

総合評価としてはB評価とし、コメントを入れたいと思いますがいかがでしょうか。

（山本委員）

実行プランの決算の状況をみると繰越金がある年度もあるようなので、工夫すればこれくらいの費用は捻出できるのではないかと思います。

（山口会長）

原理原則から言えば、繰越金があるのであれば補助金を受けずに繰越金を充てていくのが先だと思いますし、自主財源の確保についても考えていただき既得権化しないようにしてほしいと思います。

(西村委員)

文化協会のようないくつもの小さな団体が集まって一つの集合体となっているような団体では、団体としての活動資金も乏しいので補助金を活用しての事業となるのは理解できますが、やる以上は事業目的に沿った「文化芸術の普及と高揚」につながるようなものにしてほしいと思います。

(山口会長)

皆さんからありました意見を集約し、コメントとしては「記念誌の内容、配付先の再検討や長期化」など少し厳しめのものとして、総合評価としてはB評価といたします。

次に、1ページに戻りまして総合評価をA評価とした事業について何か意見がありましたらお願いします。

(神田委員)

「立地企業等協力金」ですが、この補助金は不動産所有者への協力金ともいえるので市民感情としてどうかと思い少し厳しめの意見を書きました。

まわりまわって誘致促進につながることは理解しますが。

(山本委員)

市の計画的な街づくりに協力して、土地等を貸してくれる不動産所有者に協力金を出すことは、小児科等の誘致にもつながることなので実行プランに合致したものと、私は理解しました。

(山口会長)

いただいた意見をコメントとして整理して入れたいと思います。

次に、2ページで何かありましたらお願いします。

(山本委員)

「観光協会事業補助金」で、今回は、ホームページの改修が中心ですが、行われる事業が毎年変わるとのことなので評価が一義的に行いにくいと感じました。

(山口会長)

この事業も長期化しており定期的な検証が必要と感じておりますので、皆さんの意見を入れながらコメントをまとめたいと思います。

次に、3ページでは4件の助成金すべてにおいて積算根拠が分かりにくいので明確化してほしいとの意見が多く出ておりますので、このようなことをコメントに入れたいと思います。

次に、4ページ「姉妹都市少年スポーツ交流事業費補助金」では、交流団体が3団体で固定化されており他の種目団体への周知を並行して行うべきとの意見もありますがいかがですか。

(山本委員)

団体が手を挙げて申請してくるとの説明がありましたが、相手先との調整がどのような形で行われているのか分からないし、市が仲介的なことをしているかなど分かりませんが、相手先との調整で手を挙げにくい環境があるのではないかと思います。

(山口会長)

姉妹都市が増えたことに伴う増額なので妥当とは思いますが、3団体による既得権化などの意見もありますので、他団体の参加希望の把握などをコメントに入れ整理したいと思います。

次に、5ページで意見がありましたらお願いします。

(川上委員)

「農林水産業の振興に関する補助金（米飯給食における地産地消推進事業）」ですが、千葉県内の他市では年間を通しての給食米の供給はしていないとのことでした。

流山市だけが補助金を出してまで年間を通して供給する必要があるのか疑問に思いました。

今回は、農業者側からの意見しか聞いていないので米飯給食を受け入れている学校側の考えも聞いてみたいと思いました。

また、JAの買取価格が1万4,000円だということは、この価格が流山産米の評価だと思しますので、補助金を出してまで流山産米にこだわる必要はないのかなと思います。

地産地消をいうのであれば、米にこだわることなく他のものも導入した形で考えても教育的効果は変わらないと思います。

(山本委員)

補助単価の固定化という問題があるにせよ、主食であるし子供たちの食育という面でも災害時の安定供給という面においても継続して行う事業として理解できますし、このことは農家の権益につながるというよりも大きな意味があると思しました。

(中村副会長)

多くの家庭が、わざわざ流山産米を買って自宅で食べるという機会は少ないと思いますし、学校教育の場で主食である流山産米を出し地産地消にふれるということは子供たちにとっても保護者にとっても良い事業だと思しました。

(山口会長)

いろいろ意見もありましたが、増額については児童・生徒数の増加に伴うもので妥当としますが、補助額のあり方などこれまでの本審議会のコメントなども含めて整理してみます。

次の「農業振興資金利子補給金」については、この事業を行うことで新規就農者が増えてくることを期待したのですが、実態としては同じ就農者が複数回融資を受けるというのが多く、新規就農としては1件ということでしたので、私としては少し評価点を低くしました。

以上で、主に評価点の分かれた事業についての意見を伺いましたが、全てA評価となっている事業についても、コメント欄に記載された皆さんの意見を集約して答申書に記載するコメントを考えたいと思います。

他になければ、次回は、私の方で本日の意見（コメント）を整理して答申案をお示ししたいと思います。

日程的には、次回18日で答申案をまとめ20日の答申としたいと思います。

最後に事務局から何かありますか。

(事務局)

特にありません。

(山口会長)

これをもちまして、本日の会議は終了とします。

ありがとうございました。

閉 議 11時10分

流山市補助金等審議会

会長 山口 今朝勝